

第 23 回中小商工業全国交流·研究集会

中小業者の力が発揮できるローカル循環を

HP・メールニュース<No.6>

2025年9月2日

商工交流会がいよいよ3日後となりました。参加申し込みが次々に寄せられ、参加者数1,000人まで、<u>あと15人です</u>(9月2日現在985人)。コロナ禍以降の物価高騰下の経営対策の力となる多彩な経験を交流し、地元での活動に生かすため、全ての民商から参加しましょう!商工交流会の情報や魅力、準備状況などをHP・メールニュースでお届けします。

(このメールニュースは県連から民商にお送りください)

***** 《参加にあたってのお願い》 *****

- ◆ 各企画の資料・レジュメは、全商連ホームページ(商工交流会専用ページ https://www.zenshoren.or.jp/shoukou-kenkyushukai) から、ダウンロードをお 願いします。資料・レジュメは随時アップしますので、ご確認ください。ダウンロードに必要な「ユーザー名」と「パスワード」は、個人参加を申し込まれた方と団体参加の代表者にお送りしています。
- ⇒ 参加費の振り込みをされていない個人・団体は、振り込みをお願いします。

企画5 業種別交流会「建設業」 9月6日(土)9:30~11:30

助言者 市村昌利(建設政策研究所)・永山利和(元日本大学教授)

助言者の市村さんは、①地域建設事業者の仕事につながる助成制度(リフォーム・リニューアル助成、小規模事業者登録制度)と公共事業について、②リフォーム助成制度や小規模事業者登録制度の特徴と経済効果について、③地域での仕事確保に向けて一を柱に報告します。永山先生は、東京都世田谷区の事例を踏まえ、公契約条例の意義と到達点について報告予定です。さいたま市で鉄骨階段の取り付けの仕事をしている会員が、事業の担

い手の確保と育成について話します。また、「大阪・関西万博建設工事代金未払い 110 番」 を取り組んできた全商連からは、運動と建設業法などについて報告します。

企画 14 課題別交流会「あるべき社会保障を考える」

9月7日(日)9:30~11:30

助言者 金澤誠一(佛教大学名誉教授)・長友薫輝(佛教大学准教授)

職員不足が深刻な介護の分野では、リハビリに特化したデイサービスを運営する兵庫・神戸北民商の会員が「笑顔で日常を送っていただけるよう、一人ひとりの利用者の『できる』を増やしたい」と日々奮闘する姿を紹介し、介護業界の待遇の問題などを告発します。

埼玉・本庄民商の会員が国保税水準の統一中止を求める運動について、厚労省や県、自 治体との懇談、国保運営協議会の傍聴で掴んだ情報などを基にこの間の活動を話します。

高知県いの町の債権管理課の課長が「生活再建型滞納整理の取り組み」を報告します。 国保税などの滞納者には一緒に納付計画を立てるなかで「衣食住の費用」は住民の手元に残るよう配慮するなど、「住民の生命と財産を守る視点」で納付相談に乗り、関係する各課と連携しながら税金を滞納している住民の生活再建を図っている取り組みを紹介する予定です。

企画 15 課題別交流会「自治体要請と施策の活用」

9月13日(土)9:30~11:30

助言者 大貝健二(北海学園大学教授)・内田みどり(自治労連中央執行委員)

物価高・賃上げ対策などの自治体施策を創設・獲得してきた運動や施策活用の実践を交流するとともに、自治体施策の役割を学び、政策提言力を高め合います。

助言者の大貝先生は「自治体と小規模事業者が連携することの意義」をテーマに、自治体が実施した中小業者支援策や地域活性化策などの注目事例、自治体要請のポイントなどを報告します。自治労連からは、住民による自治体要請の意義や施策の活用を呼び掛ける立場として何を重視しているかなど、自治体職員の立場から報告します。

***** 《企画日程》*****

